

天王通り周辺 まちづくり タウンミーティング ニュース

今回は
ココ！
参加者
44名！

第1回

日時：1月13日（土）
9:30～11:45

会場：津島市文化会館視聴覚室
テーマ：
「天王通り再生プランの作品を通して」

3つの受賞作品の提案者をお招きして、
プランの説明を聞き市民と意見交換し
ました。

第2回

日時：2月17日（土）
9:30～11:45

会場：観光交流センター
テーマ：
「道(天王通り)の可能性について」

通りの歴史を振り返り、交通や福祉
など様々な観点からみた「道」の可能
性を考えます。

第3回

日時：3月17日（土）
9:30～11:45

会場：観光交流センター
テーマ：
「天王通りの将来像について」

第1回・2回を踏まえ、天王通りの
将来像について方向性を探りま
す。

■タウンミーティングの概要

津島市では、津島駅から津島神社までの賑わいを創出するため、
その舞台となる「天王通り再生プラン」のアイデアを募集しまし
た。これを契機に、将来の天王通り周辺のまちづくりについてタ
ウンミーティングを今年度3回シリーズで開催しています。
今回報告する第1回は、再生プランの優秀賞を受賞した3作品の
提案者をお招きし、作品の説明を聞いてから、受賞作品ごとに3
つのテーブルに分かれて提案者と市民が意見交換をしました。



再生プラン 優秀賞！
「見え隠れ」と「縁結び」
石井 大五さん

石井さんのまちづくりへのアドバイス
津島市民は、名古屋に近く利便性がよい
せいか、自らの発信が弱い。発信力を高め
て技術ある人達を呼び込むとよい。
この案は、通り沿いが一律ではなく、それ
ぞれのレベルで段階的に進められ「身の丈
レベル」で通りの再生に関われるのが特徴
です。



通りに52本の赤い鳥居
を並べるところが、イン
パクトもあり、市民へ話
題性もある良い提案だ。

天王通りは津島神社へ
の参道ではあるが、本町
通と比べて歴史的な位
置づけは薄くてもいい
のではないかな。

まち並みで、見せるべき
ところと、見せないとい
うところがあっていい
という発想が素晴らしい。

市民の活動拠点、アー
ティストの活動支援と
して空き家などを活用
して場を創出する。

通り沿いに人は住ん
でいるのに、夜は暗く
閉ざされた感じがあ
る。人の気配を感じら
れるように。

津島は、駅があって、
小路があって、神社が
ある、と風景が移り変
わっていくのが特徴
です。

神を感じるまちなら、
「ご利益」「厄除け」
「お守り」を来訪者へ
アピールしたい。

このプランは、美し
い案、きれいな案、
素晴らしい案だ！
ワクワクした。



高橋さんのまちづくりへのアドバイス
立派な神社や小路があって、駅前が空
いている。これは大きなポテンシャル
です。
力を合わせたら、伊勢のおかげ横丁み
たいにもできる。

美しい提案だった。
天王通りがこうなる
といいなあ。

「天王の橋渡し」「天王橋」と
いったネーミングが素晴らしい。
みんなで共有できる言葉
がありがたい。目からウロコ
が、少なくとも三枚は落ちま
した(笑)。

この提案をもとに
「できない」を「で
きる」に変えていき
たい。

単純に「道路のフラ
ット化」はいいと思
った、ぜひ実現させ
たい。

昔のまち並みも軒下
空間を上手に活用し
ていた。軒先ガーデン
はそれを現代に生
かしたいいい考え。

軒先ガーデンの利活用
を推進する「まちづく
り会社」がいるとオー
ナーの協力を得やすい
と思う。

津島の地主は古い考え
の人が多く、軒先ス
ペースをみんなに提供し
てもらえるのか心配。



再生プラン 最優秀賞！
「天王の橋渡し」
～神に至るみち。天王通りを
経てその津島神社参拝～
高橋 梢さん

**村山さんのまちづくり
へのアドバイス**
この提案の特徴は、「最
小限の努力」で「最大
限の効果」が得られる
こと。
都市計画道路のセット
バックの空間の活用が
ヒントになっている。



再生プラン 優秀賞！
「軒先ガーデン
のある参道」
村山 健二さん
村山 由佳さん

歩道を拓けても公
共空間は利活用に
制限が強い。民間の
軒下そのまま活用し
た方が自由度は高
く、有効。

既にある空きス
ペースの有効活用を
市民からどんどん
することで少しず
つ変えていける。



「天王通り再生プラン」提案募集について



【一般社団法人 津島にぎわい創出機構OSHI 代表 清水裕之】
 今回の提案募集は、昨年7月に募集を開始し、続けて現地説明会を開催の後、10月に提案を締め切りました。11月に第1次審査、12月に第2次審査を経て受賞作の表彰をしています。応募作品は全国から多数集まり、最優秀1作品、優秀2作品、佳作7作品の計10作品が入賞しました。本日は、最優秀賞と優秀賞の計3作品の提案者にワークショップに来ていただいています。

コンペの課題は「天王通りを津島駅から津島神社までの参道に見立てた賑わいを創出する再生プラン」です。天王通りを津島神社の参道と見立てて、全体のコンセプトとキャッチフレーズ、まち並みの新たな計画と機能を提案してもらいました。それだけでなく、提案された新しいまち並みの賑わいを持続させるための組織や運営方法についても提案を求めており、提案募集ではとても質の高い作品が集まりました。



これまでの皆さんの意見をふまえた緑地の計画案



最優秀賞：「天王の橋渡し」 高橋 梢

～神に至るみち。天王通りを経てこそその津島神社参拝～

両側には商店が軒を連れ、行き交う活気にあふれていた天王通り。しかしすでに空き店舗が多くを占め、さらに高層マンション化、駐車場化が進んでおり、往時の商店街としての機能はほとんど失われている。

マンション建設等の通り沿いの機能の変化や、本町通りをはじめとした小路・町家の修景、小路めぐりといった活動等、周辺の取り組みを活かしながら、新たな住民をとりこみつつ、暮らす人・訪れる人が一緒になって、小さな仕掛けとともに実験的・フレキシビリティに津島神社へと向かう参道として、天王通りの存在感を達成する。

■津島駅から津島神社までの架け橋となるための3つの要素

1. 神の駅：津島神社へと誘う雰囲気醸成施設・駅前広場づくり
2. 神のみち：暮らし・コミュニティの充実のための神庭整備、町方文化・歴史ある小路と7つの辻・辻庭づくり
3. 神の杜：神社と一体となった参道眺望のある絵になる場所づくり

■天王通りを経て向かうからこそ参拝が楽しくなる仕掛けづくりの3つの要素

1. 空間の体験：両側町としてのスケールの性格を残したまま、暮らすひと・働くひと・訪れるひとが交わる通りとしての再興。
2. 文化の体験：辻に鎮座する「辻神様」、店舗を飾る「窓神様」など神の宿るみちの演出、津島に伝わる固有の文化の新たな形での再生。
3. 時間の体験：まちめぐり・宿泊観光を促す、おやすみ処・提灯ロードなど夜の魅力の新興。



優秀賞：「見え隠れ」と「縁結び」 石井 大五

■「見え隠れ」

天王通りは、参道の面影を残しながら、空き地などにより、地方のどこにでもあるまち並みとなっている。参道空間として「見せるべきところ」とそれ以外を「見え隠れ」で修景し、参道空間を再生する。

景観に配慮するため、「大鳥居」を設置することにより、景観阻害要因を見え隠れさせ、景観にリズムをつくる。まち並みに平行な方向では、「暖簾」など懐かしい仕掛けが、見せるべきものを強調し、それ以外を見え隠れさせる。建物を大きく改変せず、付加可能、取替可能な仕掛けである。さまざまな仕掛けの相乗が、繊細さと多様性を生む。修景は効果の高い拠点から始める。

■「縁結び」

津島神社や天王通りを、さまざまな広がり「縁」で活性化し、魅力的な参道文化をつくり上げる。

その要は、ものづくりである。その活動として工芸品や食べ物で参拝者を楽しませ、かつての門前文化に再生する。中心は、機器ソフトを備え、一人からのものづくり活動を支援する「ものづくりシェア工房」。津島市民がメンバーの「津島クラブ」「高校生ギャラリー」は津島の、「尾張の窓」は愛知の、「長屋工芸街」「工芸アーティスト・イン・レジデンス」は世界の広がりでのものづくりの縁で、新しい工芸品を通

して、参道を盛り立てる。ものづくりの力を備えたアーティストと市民自身は、修景の担い手ともなる。

「津島クラブ」は、この仕組みを支えるボランティア組織であり、さまざまな「縁」を媒介する。



優秀賞：「軒先ガーデンのある参道」

村山 健二、村山 由佳

本案では、道路拡幅を伴わずに、日常生活を豊かにし、お祭り時にも使いやすい参道空間を形成する以下の方策を提案します。

1. 天王通り沿道に多く見られる木造2層建物を、主にリノベーションによって1階を商業またはオフィス、2階を住居として更新し、1階の軒先にコモンスペース（軒先ガーデン）を設けます。市はこの形式での建物更新に対して補助金を交付し、軒先ガーデンはまちづくり会社が地権者と共同的に管理します。
 このことにより、休憩・滞留・緑化等の機能が通りに加わり、景観的にも、町家や看板建築が点在する天王通りの景観を引継ぎながら、沿道にゆとり・潤い・賑わいを加えることができます。また地権者は自己負担を抑えつつテナント・居住者を募集しやすくなります。
2. 車道をかさ上げし、歩道とフラットにつなげます。歩道と車道は可動式プランターで区切り、街路灯は官民境界際へ配置し路上の障害物を極力なくします。このことにより、現状幅員のまま道路を最大限一体的な広場として使えるようにします。
3. 軒先ガーデンと天王通りを管理する官民共同出資のまちづくり会社を立ち上げます。道路の日常維持管理活動を市から請負う代わりに、お祭り・イベント時の道路使用料を同社が収入として得ます。

軒先ガーデンには同社が各地権者へ貸し出すファニチャーを配置します。また、同社が循環バスを運営し、軒先ガーデンはバスの待合所としても機能します。



Aグループの意見 参加提案者：「天王の橋渡し」高橋 梢さん

■作品に対する印象・感想など

- 現在の天王通りはちょっとさみしいが、それに対して提案は美しかった。こうなるといいなあと思う。ぜひ、この案を今後に役立てたい。また、どうやって人を呼べるか考えていきたい。今の天王通りには屋間に人がいない。
- さすが、女性の視点で素晴らしかった。優しい提案。きれいな案で素晴らしかった。
- どの案も素敵だが、この作品が一番楽しそうだった。
- 私は生まれて初めて津島神社を見たとき感動した。平安神宮の感動を超えるくらいに思った。今後、この提案をもとにして「できない」と思っていたことを「できる」にしていきたい。
- 今の天王通りには驚くほどトイレが少ない。
- 津島は震災を受けなかったのに、昔と変わらない道が残っている。これを活かすことができる。
- 「神」「辻」という切り口、住んでいる私たちは気付いていなかった。そういう見方があるのか、と新鮮に驚いた。津島は神社と切っても切れない関係のまちです。
- 一番魅力的な案でした。辻ごとにコンセプトがあり良かった。
- 提案に一貫性があり、「天王の橋渡し」「天王橋」といったネーミングが素晴らしい。みんなで共有できる言葉というのはありがたい。目からウロコが少なくとも三枚くらいは落ちました(笑)。
- ネーミングがすばらしい。しびれた。
- 地元からの提案もほしかった。
- 外部から見た方が客観的に見えるんだなあと思わされた。非常に勉強になります。
- 二次審査をみたが、この案は満場一致でした。大きいスケールから小さいところまでバランスよく、きめ細やかに提案されていて、素晴らしい案だと思う。
- この提案が一番わくわくした。モールのような商業施設に行くような楽しさが期待できる。

◆さあ、この提案をもとにどこから始めると良いか！

【提案者：高橋さんから】

- 駅をおりて、大きな空間があるというのは貴重なこと。この規模の都市で、これだけのまとまった空間があるところはなかなか無い。駅があって、小路があって、神社がある、と風景が移り変わっていくのが特徴です。
- これに対して公共も民間（住民）もそれぞれ出来ることからやっていったら良いのでは。
- 津島の歴史は、天王川公園や毛織物産業などを意識した。提灯辻から提灯ロードは歴史を強く意識している。
- 【参加者より】
- ちょうど駅前で解体しているビルがある。そうした機会を逃さず上手に整備するといい。市の玄関なんだから。
- 天王通りの店には駐車場がない。だから車で来る利用者には使いにくい。駅からの交通のアクセスもイマイチ。
- 何のまちで売り出したら良いか？ やっぱり「オンフットで歩いてまわれるまち」じゃないの。
- 東京オリンピックに向けて観光客が増える。ゆかりの武将（信長・秀吉・清正など）、いちご、毛織物をPR。
- 神を感じるまちの3つのポイントとして「ご利益」「厄除け」「お守り」を来訪者へアピールすると良い。
- マップが無くても歩くと楽しいまちになると良いですね。
- 空き家の分布を把握することから始めた方がいいんじゃない。
- 空いたスペースを使って、物産展などのイベントを開催したら良い。
- 全国的に知られた津島神社を活かした方が良く、活かすべき。
- 駅から約20分。楽しく歩けたら、伊勢のおかげ横丁になれるよ。

◆高橋さんと、高橋さんが所属する「設計まちづくりテント」の北山さんからのアドバイス

- 駅に空間があって、居住空間になるというのは大きい。名古屋に通う人の住まいも確保できる。
- これだけの神社があるというのは大きなポテンシャル。私はおかげ横丁やおはらいまちの計画にかかわっていたこともあるんですが、そのようになれる可能性は十分にありますよ。
- 自分が楽しめる空間を描きたいと思いながら提案を考えた。みなさんから「わくわくする」と言ってもらえてうれしかった。市民の方ができることから一つ一つやっていったら、勝手に立ち上がってくる部分もあるのではないかと思います。ぜひこれからの皆さんの活動に期待しています。



文：にぎわい創出機構 OSHI 細井昭男

Bグループの意見 参加提案者：「見え隠れ」と「縁結び」石井 大五さん

■作品に対する印象・感想など

- 3案の中では、最も現実的な案であり、実現の可能性がありそうで気に入った。
- 見せるべきところとそうでない所がある、または見えないところがあってもよいという発想が素晴らしい。
- 理想的なものほど実現が難しい？と言われるが、この案は理想的なプランではないものの、段階的に整備されるようなプランであり、まちが変わる様子がイメージできる案で良いと思う。
- プランの中では特に52本の鳥居のところが、インパクトもあり、市民に対して話題性もある良い案である。
- 日常と非日常の世界が通りを介してうまく混ざりあう案である。～ハレとケ～（祭などと日常生活）
- 私も石井さんと同じように二次審査提案者であるが、私たちも同じように最初から完成形をイメージするのではなく、段階的に整備される部分や出来るところから始めるといった発想で提案させてもらったので、この案には共感できる。
- 52本もある鳥居については、多すぎるかもしれない。かえってジャマになるのではないかな？
- 天王通りは津島神社へと続く参道ではあるが、本町通と比べるとその歴史的な位置づけは薄く感じる。この通りを歴史的に絡めすぎなくても良いのではないかな？
- 【提案者：石井さんより】「見え隠れ」について
- 鳥居については設置できそうならやる、ダメならやめることもできる。フレキシブルに対応できるのもこの案の特徴であり、個人の都合で内容を変えることができる。
- 天王通りは、車がスピードをだして走っていて、歩行者がゆっくり買い物できる通りではないと感じた。
- この案は、通り沿いにいる人達の個人のレベルで（内容）を変えることが可能な案である。それは、段階的である上に、個々の技術、資金面に合わせて身の丈レベルで天王通りの再生に関わることが出来るのではないかな。

◆さあ、この提案をもとにどこから始めると良いか！

【提案者：石井さんから】「縁結び」について

- 津島は夏の天王祭りや秋の尾張津島秋祭りなど、大きく立派なお祭りが盛大に行われていて、周りから見るととてもうらやましい環境にあると思う。
- 津島市（民）は、名古屋に近いという利便性のせいなのか、自らの発信が弱いと感じる。
- 発信力を高めて技術力のある人達をもっと呼び込むことが必要。（新市民として）
- ものづくりの活動で再生するために、次世代（子ども達）への提案が必要となる。
- 市民の活動拠点、アーティストの活動支援として空き家などを活用して場を創出する。
- 【参加者より】
- まずは通りに飲食店が少ない、もしくはほとんど無いといってもよい。
- 天王通りを問わず、通りに人が歩いていない。でも通り沿いの家屋には人は住んでいる。通りと通りに面する家屋に接点がなく、閉ざされている感じがある。特に夜などは明かりもなく暗く寂しい。
- 名古屋市に近いわりには名古屋駅から電車で30分はかかる。時間だけで言えば名古屋～岡崎もそのくらい。中途半端に名古屋に近いのでそれがデメリットにもなっているのではないかな。
- 日常としての津島の風景に居心地の良さを感じることが出来るようにする。
- 津島市で進行中の、「みんなパタ」プロジェクトや、まち家まちなか小商い創出支援事業など魅力ある事業と、天王通りの再生をうまく関連づけていくことが必要だと思う。



文：にぎわい創出機構 OSHI 葛山稔晃



Cグループの意見 参加提案者：「軒先ガーデンのある参道」村山健二さん、村山由佳さん

■作品に対する印象や感想など

- 行政が関わることで神事の部分がなくなったものもあり、復活させたい。
- 提案をみて「道路のフラット化」はいいと思った、ぜひ市にやってもらいたい。
- 軒先ガーデンは良い提案だ。最近の星が丘のまち並みのようになってほしい。
- 電柱の地中化は費用もかかって難しいが、提案のように是非実現してもらいたい。
- 津島の地主は古い考えの人が多く、軒先スペースをみんなに提供してもらえるのか心配。そのためには、まちづくり会社に地権者を加えていくことが重要。
- 昔のまち並みも軒下空間を上手に活用していた。軒先ガーデンはそれを現代に生かしたいいい考え。
- 提案に、天王通りが変わるかもしれないという可能性を感じた。地元は本町筋に注目しがちだが、天王通りもおしゃれな商業空間に変わるといいなと思った。
- この提案で、学生など若い人が多くいる「まち」になるのではないかと感じた。
- 三重県の自分の「まち」に比べて今は商店街などのお店が少ない印象がある。提案が実現すると商店街を駅から神社までそぞろ歩きしながら楽しんで歩く人が増えると思った。
- 中村区の中村公園の参道の近くに住んでいるので雰囲気は近いかもしれないが、津島は何もないというイメージを持っていた。提案は、津島の名所となって変えてくれる可能性を感じた。
- 初めて津島に来てよくわからないが、若い人が来やすい「まち」になったらいいと思う。軒先ガーデンはどの「まち」でも使えるいい方法だと思う一方、津島らしさを出すために津島神社を絡めた提案にしていくともっと良くなると思った。
- 市役所に勤めているが、実は天王通りには祭りのときくらいしか来る機会がない。軒先ガーデンがあると、祭りの観光客だけでなく、地元の人々の普段の暮らしにとっても役に立つように思う。

◆さあ、この提案をもとにどこから始めると良いか！

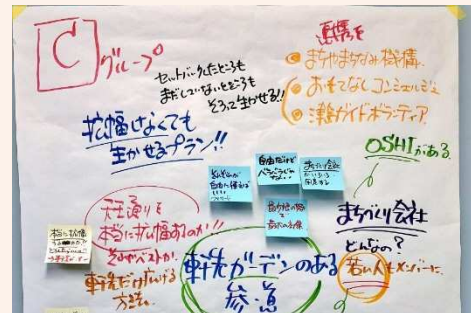
【提案者：村山さんから】

- この提案は、天王通りの都市計画道路拡幅整備の見直しがテーマとしてある。ほとんどの区間は現状の道路で機能的に足りており、都市計画道路として一律に拡幅するよりも、「軒先ガーデン」として1階部分だけ無理なく広げていく方が、歩行者の空間を豊かにするという提案だ。計画線に沿って既にセットバックしたところは民間敷地のまま歩行者の空間として有効につかい、まだセットバックしていない建物も、軒先だけ引くことで、ヒューマンスケールのまち並みを残しながら歩行者の空間を拡げていく。
- この提案は、「最小限の努力で、最大限の効果」を得ることができるのが特徴になる。
- 道路拡幅して歩道を広げても、道路空間は規制があるのでテーブルやベンチなど来街者をおもてなしする空間が作りにくい。

【参加者より】

■「軒先ガーデン」を実現するには

- 軒先ガーデンの利活用を推進したり、管理をする「まちづくり会社」があると、オーナーの協力を得やすい。ワークショップの運営をするOSHIがやるのもいい。
 - そうした地域のコーディネーターは「若い人材」になってほしい。提案者の村山さん達のような。
 - 津島ガイドボランティアや、津島おもてなしコンシェルジュ、津島まちやまちなみ再生機構など、様々なメンバーが津島にはいる。一つのプラン（目標）の実現に向けて、こうした人々が連携して取組んだら、すごい力を発揮するだろう。
- みんながすぐにはできる取組みはないか
- 都市計画道路の計画に沿って既にセットバックした通り沿いのスペースが有効利用されずにある。そんな空きスペースの有効活用策を、市民からどんどん市役所に提案することで少しずつ変えていく。
 - 沿道の駐車場との隙間スペースなど、使えそうなスペースが結構ある。



文：にぎわい創出機構 OSHI 藤森幹人

参加者の声（アンケートの言葉から）

- 天王通りの再生なくして津島の活性化はないので、ぜひこの動きを持続してほしい。
- これだけ大勢が集まっていることに感動します。引き続き継続することが一番だと思います。
- おもしろい意見が多く、その場所に住んでいる方の話を聞けたことがよかった。
- 天王通り近くの住人の方がもっと参加してくれるといいと思いました。
- 3つの再生プランは甲乙つけがたい良いものだった。いい所取りではないが、市としてはプランのよいところ、実現可能なところを取り入れたものにしてほしい。
- 津島の歴史では天王通りは新しいほうだから、変化は大いに可能と思う。
- 地元でどっぷりつかった生活の場から、外へ打って出る新しい提案はとても新鮮でした。
- 市民が、小さくてもできることから始めることが重要だと改めて感じました。
- 天王通りをこうしたいという全体像が示せるとよい。できる所からという声も多かったが、バラバラにならないよう全体像も必要である。
- 根底にあるシャッター通りになった原因と対策を考える必要がある。

今回の再生プランの受賞者のプロフィールをご紹介します。

最優秀賞：「天王の橋渡し」

高橋 梢（こずえ）氏

福島県喜多方市在住

合同会社 設計まちづくりテント 代表

別の民間会社にてランドスケープや地域計画の仕事に携わったのち、再び大学で景観まちづくりを研究。2013年より、故郷の福島県喜多方市にて、現会社を設立し、日本各地のまちづくり業務に携わる。

優秀賞：「見え隠れ」と「縁結び」

石井 大五 氏

東京都在住

石井大五+フューチャースケープ建築設計事務所 代表取締役
住宅や公共建築の設計・監理を行いつつ、日本さらには世界の各地を訪れ、建築・ランドスケープなどの手法を研究している。

優秀賞：「軒先ガーデンのある参道」

村山 健二 氏、村山 由佳 氏

東京都在住

東京都に本社がある大手設計事務所に勤務
主に、都市計画分野の仕事を担当し市街地再開発事業を手掛けている。

次回日時のお知らせ



日時：2月17日（土）午前9時30分～
場所：津島市観光交流センター です！

ご参加お待ちしております！

【お問合わせ先】

津島市建設産業部都市計画課 松尾・側島（そばじま）
TEL：0567-55-9627